東京大学 UTSSI

障害児のスポーツや身体活動性向上を目標とした
地域に根ざした多分野人材育成とスクール開催事業

東京大学医学部附属病院・日本パラスポーツ協会(JPSA)・独立行政法人日本スポーツ振興センター(JSC)
株式会社東京ドームスポーツ・一般社団法人ハビリスジャパン・日本アダプテッドブレイキン協会 他

⇒スクール・セミナー開催 情報共有と発信

- ✓ 課題の抽出
- ✓ 解決法の提示
- ✓ マッチング

情報

パラスポーツに関する情報提供

人材

必要な介助者の確保

障害を理解しているスポーツ
指導者等の確保

場所

アクセスの良い環境と場所

安全にスポーツができる場所

道具

障害特性に応じた用具の確保

令和6年度

主に大学でのスクール開催事業およびパラスポーツ関連の情報共有セミナーの開催

障害児・者のニーズ
実施・運営上の課題抽出

令和7年度

大学もしくは地域スポーツ施設などでのスクールイベントの定期開催を実現。地域での障害児・者のニーズ抽出を行う。

地域でのパラスポーツ指導者の育成と確保、地域スポーツ施設での継続性のある事業化

令和8年度

民間事業者も含めた地域スポーツ施設での常設クラス・定期開催化

定期開催・運営、あるいは障害児・者の受入れが可能な体制整備の支援を実施

障害に関わらず、誰もが安心して参加し、継続性のある地域スポーツ・文化活動の、地域に根ざした継続性のある運営と開催に繋げる

東京大学 UTSSI

障害児のスポーツや身体活動性向上を目標とした
地域に根ざした多分野人材育成とスクール開催事業

障害の有無に関わらず、
誰もがスポーツに参加できる場の実現

2013年6月 「障害者差別解消法」が制定
2024年4月 民間企業の「合理的配慮」が法的義務化

第3期スポーツ基本計画(文部科学省2022)
体育授業の参加を希望する障害児童
生徒の見学ゼロを目指した学習プログラム開発を明記

⇒社会環境は変化しつつも、様々な障害に対して
どのように実際に対応すべきか具体的な方法が
確立していない

課題解決と
社会実装を目指す

スポーツ基本計画

障害者の適切な運動習慣

小児期からの
適切な運動習慣

運動の実施・習慣化
生活習慣病予防

障害者の
社会参加の促進

健康の増進
生活の質(QOL)向上へ
真の健康寿命の延伸